



物流ニッポン

2008年(平成20年)

6 | 5 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3138号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

住友倉庫

アーカイブ中核拠点

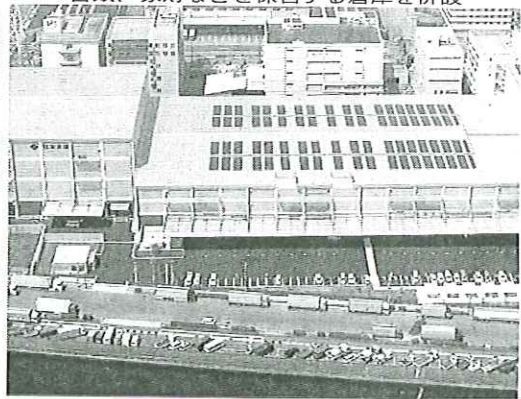
ミスノ専用 南港東倉庫が稼働

【高橋健太】住友倉庫 面積は六万五千平方メートルは二日、南港東倉庫(大)で、自社最大級の大規模物流施設となる。同倉庫は大阪港の港湾地区に隣接し、敷地面積は三万三千八百九十平方メートル。ミスノ専用の物流センターは、地上三階建てで、延べ床面積四万七千七百六十九平方メートル。パレット収容可能な自動倉庫をはじめ、出荷・棚付け補充を省力化するコンベヤーシステム(総延長千七百メートル)、情報端末を搭載したヒッキングカートなど最新鋭のメテハ機器を導入し、大幅な作業効率向上を目指す。

さらに、併設倉庫は地上四階建てで、延べ床面積一万七千平方メートル。スポート用品をはじめ、書類や家財などの保管倉庫として利用する。入退室管理システムや管理カメラを導入するなどセキュリティ体制を完備し、西日本におけるアーカイブ事業の中核拠点と位置付ける。

住友倉庫によると、新倉庫の開設は四月に竣工した上海新倉庫(三万八千平方メートル)に続き、今年度に入ってから二棟目。これにより、同社は中期経営計画の重点テーマと

書類、家財などを保管する倉庫を併設



する配送センター業務およびアーカイブ事業を、より一層強化したい考えだ。